

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月29日

上場取引所 東大

上場会社名 江崎グリコ株式会社

コード番号 2206 URL <http://www.glico.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 江崎勝久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 松本節範

四半期報告書提出予定日 平成21年11月6日

配当支払開始予定日

TEL 06-6477-8404

平成21年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	154,464	△1.8	9,544	62.3	10,051	64.2	6,053	378.7
21年3月期第2四半期	157,351	—	5,879	—	6,119	—	1,264	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	53.32	—
21年3月期第2四半期	9.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	209,125	108,682	51.0	939.52
21年3月期	193,051	100,107	51.0	866.55

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 106,666百万円 21年3月期 98,400百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
22年3月期	—	5.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	287,700	△0.5	10,500	64.0	10,700	48.7	6,300	—	55.49

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	144,860,138株	21年3月期	144,860,138株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	31,327,127株	21年3月期	31,305,826株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	113,541,534株	21年3月期第2四半期	128,146,195株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期の業績は、以下のとおりであります。

売上高は、食品部門が増収となりましたが、菓子部門、冷菓部門、牛乳・乳製品部門、畜産加工品部門は減収となったため、全体では154,464百万円(前年同期比98.2%)となりました。利益面につきましては、製品規格の見直し等による売上原価率のダウンや広告宣伝費の減少等により、営業利益は9,544百万円(前年同期比162.3%)、経常利益は10,051百万円(前年同期比164.2%)、四半期純利益は6,053百万円(前年同期比478.7%)となりました。

なお、各部門別の売上の状況は添付資料の8ページに記載しておりますのでご参照下さい。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の財政状態は、以下のとおりであります。

総資産は、短期資金運用による有価証券の増加、設備投資による固定資産の増加等により、209,125百万円(前連結会計年度末に対して16,073百万円の増加)となりました。純資産は、利益剰余金の増加、その他有価証券評価差額金の増加等により、108,682百万円(前連結会計年度末に対して8,574百万円の増加)となり、自己資本比率は51.0%(前期末比+0.0%)となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績見込につきましては、第2四半期までの業績動向や今後の見通しを踏まえ、平成21年10月19日に公表のとおり、通期の業績予想を修正いたしました。

連結売上高は287,700百万円(前期比99.5%)、営業利益は10,500百万円(前期比164.0%)、経常利益は10,700百万円(前期比148.7%)、当期純利益は6,300百万円を見込んでおります。

今後はこれを確保すべく、グループ企業全社を挙げて取り組む所存であります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,852	11,198
受取手形及び売掛金	32,697	29,971
有価証券	17,093	9,900
商品及び製品	7,871	8,445
仕掛品	914	932
原材料及び貯蔵品	10,736	10,841
その他	5,649	5,983
貸倒引当金	△172	△95
流動資産合計	88,642	77,176
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,231	21,291
機械装置及び運搬具（純額）	26,104	25,623
土地	14,660	14,647
その他（純額）	7,307	4,900
有形固定資産合計	69,303	66,463
無形固定資産		
ソフトウェア	1,057	590
その他	1,649	1,493
無形固定資産合計	2,706	2,083
投資その他の資産		
投資有価証券	39,098	36,819
その他	9,825	10,901
貸倒引当金	△451	△392
投資その他の資産合計	48,472	47,328
固定資産合計	120,482	115,875
資産合計	209,125	193,051
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,867	28,942
短期借入金	11,050	21,862
未払費用	21,357	18,559
未払法人税等	3,292	872
役員賞与引当金	—	88
販売促進引当金	1,247	1,195
その他	5,143	4,823
流動負債合計	73,958	76,342

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
固定負債		
長期借入金	10,005	5
退職給付引当金	11,856	12,133
役員退職慰労引当金	180	344
その他	4,442	4,117
固定負債合計	26,484	16,601
負債合計	100,442	92,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	7,426	7,426
利益剰余金	117,853	112,935
自己株式	△26,660	△26,639
株主資本合計	106,393	101,495
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,620	△1,228
繰延ヘッジ損益	△565	△635
為替換算調整勘定	△782	△1,231
評価・換算差額等合計	273	△3,095
少数株主持分	2,015	1,707
純資産合計	108,682	100,107
負債純資産合計	209,125	193,051

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	157,351	154,464
売上原価	91,786	86,741
売上総利益	65,565	67,723
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	14,130	14,031
販売促進費	16,493	17,609
広告宣伝費	7,694	6,668
退職給付引当金繰入額	394	581
販売促進引当金繰入額	1,296	52
その他	19,677	19,235
販売費及び一般管理費合計	59,686	58,178
営業利益	5,879	9,544
営業外収益		
受取利息	244	201
受取配当金	421	335
その他	551	746
営業外収益合計	1,217	1,283
営業外費用		
支払利息	177	160
金利スワップ評価損	254	—
その他	544	614
営業外費用合計	976	775
経常利益	6,119	10,051
特別利益		
固定資産売却益	257	—
投資有価証券売却益	99	44
その他	2	3
特別利益合計	358	47
特別損失		
減損損失	—	117
投資有価証券評価損	2,186	140
貸倒引当金繰入額	—	75
その他	253	12
特別損失合計	2,440	344
税金等調整前四半期純利益	4,038	9,754
法人税、住民税及び事業税	2,367	3,433
法人税等調整額	153	82
法人税等合計	2,521	3,516
少数株主利益	252	184
四半期純利益	1,264	6,053

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

当連結グループは食料品の製造、販売のみの事業であり、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める本邦の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

・販売の状況

(単位:百万円、%)

	前第2四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		増減額	対前年 同期比	(参考) 前連結会計年度 (平成21年3月期)	
	金額	構成比	金額	構成比			金額	構成比
菓子	43,577	27.7	41,124	26.6	△2,453	94.4	87,922	30.4
冷菓	39,157	24.9	38,880	25.2	△276	99.3	58,659	20.3
牛乳・乳製品	45,995	29.2	45,669	29.6	△325	99.3	85,452	29.6
食品	11,822	7.5	12,344	8.0	521	104.4	23,889	8.3
畜産加工品	16,797	10.7	16,445	10.6	△352	97.9	33,090	11.4
合計	157,351	100.0	154,464	100.0	△2,886	98.2	289,015	100.0

各事業部門別の状況は下記のとおりです。

<菓子部門>

国内では、新製品“かるじゃが”、“スクイーズ”が売上を伸ばし、“チーザ”も前年同期を上回りましたが、「プリッツグループ」等は前年同期を下回りました。また、海外では、タイ、上海の海外子会社が前年同期を下回りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は41,124百万円となり、前年同期(43,577百万円)に比べ5.6%の減収となりました。

<冷菓部門>

主力の“アイスの実”が好調に推移し、“バリッテ”も順調に売上を伸ばしました。一方、“パピコ”、“牧場しぼり”等は前年同期を下回りました。また、卸売販売子会社も減収となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は38,880百万円となり、前年同期(39,157百万円)に比べ0.7%の減収となりました。

<牛乳・乳製品部門>

クラッシュカフェゼリー及びフルーツミックスに加えて、新味ベリーミックスを発売した“ドロリッチ”が引き続き好評で、順調に売上を伸ばし、“カフェオーレ”も前年同期を上回りました。一方、清涼飲料やヨーグルト及びプリン関係は前年同期を下回りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は45,669百万円となり、前年同期(45,995百万円)に比べ0.7%の減収となりました。

<食品部門>

主力の“2段熟カレー”が前年同期を上回り、“ちょい食べカレー”等の「レトルトカレー」も順調に推移しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は12,344百万円となり、前年同期(11,822百万円)に比べ4.4%の増収となりました。

<畜産加工品部門>

“A-グル”等の食品原料は前年同期を上回りましたが、ソーセージ等は前年同期を下回りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は16,445百万円となり、前年同期(16,797百万円)に比べ2.1%の減収となりました。